

バレーボール男子日本代表に大歓声

8月11日(月)から17日(日)までの7日間、サンアリーナせんだいで、バレーボール男子日本代表チームが、9月から開催された世界選手権に向けて合宿を行いました。

15日(金)には、本庁へ表敬訪問し、約500人の市民などから歓迎を受けました。17日(日)は、有料の公

開練習を実戦形式で行い、約2600人のファンがスパイクやサーブなど迫力あるプレーを楽しみました。

合宿を通して、ロラン・ティリ監督は「厳しい合宿になるが、良い環境で合宿ができている」とコメントし、主将の石川祐希選手は「世界選手権で合宿の成果が発揮できるよう頑張りたい」と意気込みを話しました。



最先端のテクノロジーで新時代を体験

8月10日(日)、SSプラザせんだいで、川内青年会議所主催による「最先端テクノロジーの祭典」が開催されました。

市民の皆さんに最先端テクノロジーを身近に感じてもらうことを目的としたこのイベントでは、プログラミングの体験や最新機器の展示、セミナーなどが行われ、多くの来場者が、最先端のデジタル技術を楽しみました。



アジアのトップへ 日本代表が表敬訪問

8月12日(火)、ドッジボール日本代表山本選手が表敬訪問しました。

山本選手は、「ドッジボールという競技をもっと多くの方に知ってもらいたい。11月20日から開催される2025アジアドッジボール選手権で良い結果を残し、鹿児島のドッジボールを盛り上げていきたい」と決意を述べました。



寄附金をいただき児童書を購入

8月12日(火)、中央図書館の児童書として、図鑑や絵本などを新たに購入し、展示しました。

これは、鹿児島キワニスクラブ様からいただいた寄附金を活用したもので、中央図書館の新着コーナーで貸し出しや閲覧ができます。



甑島選抜チーム 宮古島で熱戦

8月18日(月)から22日(金)、沖縄県宮古島市で、第16回全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)が開催され、全国の離島から24チームが参加しました。

里、海星中学校から10人が参加した甑島選抜チームは、他の離島チームと熱戦を繰り広げ、交流会では全国の仲間たちと親交を深めました。



甑島の夏をみんなで満喫

8月2日(土)から5日(火)の3泊4日で、夏のアドベンチャー「薩摩川内ばっけもんの旅」を実施しました。

市内の小中高生31人が、甑島の大自然を舞台に自転車走行や野外炊飯活動などの活動を行いました。友情や強い心身を育み、さまざまな活動を通して、協力することの大切さを学ぶことができました。



地域産業の発展に寄与

8月5日(火)、本庁で、イフテックアグリカルチャー(株)との立地協定調印式を行いました。

同社は、再生可能エネルギーを活用した菌床シイタケの生産、販売を行う会社です。この協定は、入来工業団地に菌床シイタケを製造する工場を建設するものです。令和8年2月の完成と操業を目指しています。



安全安心な市民生活のために

8月6日(水)、本庁で、川内ヤクルト販売(株)と「災害時における避難所に関する協定」および「災害時における食糧等物資の供給協力に関する協定」を締結しました。

本協定の締結により、災害発生時の避難者の受け入れや、物資などの供給協力ができ、市民生活の安全安心の確保に大きく貢献されることが期待されます。



学習院大学 樋脇町でホッケー合宿

8月8日(金)から15日(金)の8日間、樋脇屋外人工芝競技場で、学習院大学女子ホッケー部が11回目となる夏合宿を行いました。

同部は、関東学生ホッケー春季リーグにおいて1部昇格を決めています。秋季の1部リーグでの戦いに向け、技術や戦略の向上のため、川薩清修館高等学校や鹿児島クラブ(成年女子)などと練習試合を行いました。



【情報提供：薩摩川内市ホッケー連盟】

夏休みの思い出 親子で産業を学ぶバスツアー

8月9日(土)、「5つの現場」を巡る親子スマイルバスツアーを初開催しました。

参加した101人は、川内港やサーキュラーパーク九州(株)で働いている人に話を聞いたり、場所を実際に見学したりするなど、港での輸出入やごみの分別、サーキュラーエコノミーについて学びました。

川内港では、コンテナが運ばれるところを間近で見ることができ、貴重な体験となりました。



薩摩川内のカッパちゃん 大阪・関西万博へ

8月10日(日)、万博大阪ヘルスケアパビリオン会場で、「子供たちの笑顔の日」イベントがありました。

イベント来場者に、薩摩川内のカッパちゃんイラストが描かれたノートとポストカードがプレゼントされました。



「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供いただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。